

第5回千歳科学技術大学の公立大学法人化の検討に関する有識者会議  
議事録概要

- 1 日時 平成29年8月28日(月) 午後2時00分から午後4時00分まで
- 2 場所 千歳市役所2階 庁議室
- 3 出席者 委員8名 欠席者 委員1名(井上委員)  
(委員名簿)

職名等	氏名
【委員長】 前釧路公立大学 学長	小磯 修二
【副委員長】 地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 理事	尾谷 賢
【委員】 北海道経済産業局 地域経済部 地域経済課長	小貫 秀治
【委員】 北海道千歳高等学校 校長	増田 雅彦
【委員】 千葉崇晶税務会計事務所 公認会計士・税理士	千葉 崇晶
【委員】 千歳商工会議所 工業振興委員長	三ツ野 仁
【委員】 千歳工業クラブ 副代表幹事	大久保 亘
【委員】 千歳市町内会連合会 副会長	井上 英幸
【委員】 千歳市 副市長	横田 隆一

4 議題

- (1) 報告書(案)について
- (2) その他

5 委員からの意見の要旨

事務局からの説明により、報告書(案)を確認いただいた上で、各委員からの意見を募った結果は以下のとおり。

- 読む側の立場からみて理解しやすいように、どういう背景で、どういう手順で検討が進められたのかを示す必要があるのではないか。
- 千歳市が新たに大学をつくる必要性、意義ということと、取組にあたっての課題を中心的に検討したという主旨を盛り込む構成としてはどうか。
- 大学が地域の課題解決に向けて取り組んでいくということを、市民にもっとアピールしていくような表現としてはどうか。
- 大学の改革構想は新たなビジョンだけではなく、新たな役割、教育研究、質保証、財政も含めて幅広いものであるため、我々なりの項目として事項別に整理してはどうか。
- 私立でもブランド力を持っている大学が多くある中で、国公立イコールブランドということではない。国公立大学志向という表現がよいのではないか。
- 大学側の捉え方は、交通アクセスが悪い、市街地から離れているなどマイナスイメージが多いが、認識を変えてもらいたい。

- 外部資金の獲得については積極的な意思を盛り込んだ方がよいのではないか。
- 幅広い分野について農業とか観光など具体性を持ったキーワードを盛り込んではどうか。
- 人材の輩出について、元々の設立趣旨からみた場合の実績と課題、その両面を書くべきではないか。
- 地域貢献については、大学よりも設置者となる千歳市のある程度の覚悟と方向性を示す意欲がないと、なかなか進まないところである。
- 地域貢献については、有識者会議としてかなり強いメッセージを入れたところなので、重きを置いて報告すべきでないか。
- 千歳市が抱えている課題解決のための政策のあり方について議論のきっかけとしてほしい。
- 公立大学の運営は国立大学とは異なり基本的に質素な運営が鉄則であろう。
- 千歳市の都市政策としてしっかり活用し、地域資源として新しい大学づくりをしていくことは積極的に取り組むべき意義のある取組であるので、千歳市としては科技大の将来的なビジョンの構築、その理念の大学との共有という前向きな姿勢で取り組んでほしい。
- 有識者会議としては今後のことについてもメッセージを出しておく必要があるだろう。
- 千歳市については、速やかに公立大学法人化に対する基本的な方針を検討するとともに、新たなまちづくりの発展にどのように結び付けていくのかという明確なビジョンの策定にあたってほしい。
- 科技大については、教職員が一体となって、より一層の大学の魅力づくり、大学の改革にあたってほしい。
- 今後は市が設置者となることから、市がイニシアティブをとって主導的に動くという状況づくりが重要ではないか。
- 大学運営を幅広く検証する、改革する貴重なチャンスと捉えていく姿勢を忘れてはならないという部分はまさにそのとおりである。
- 今後は教職員が一体となって運営していくという意識をさらに強くしてもらいたい。
- 大学の事務局と千歳市の事務局とで、緊密に連携しながら議論できるような意見交換、交流の場を設けて、前向きな提案を引き出していく姿勢が重要である。

－ 以上 －